


環境省・オフセット・クレジット(J-VER)制度認証委員会  
 (事務局: 気候変動対策認証センター) 御中

平成24年11月28日

## 検証結果の概要報告書

検証結果の概要について以下の通り報告いたします。

|   |  |  |      |      |      |   |
|---|--|--|------|------|------|---|
| <b>対象プロジェクト名</b>                                      |  |  |      |      |      |   |
| 岩手県県有林における森林吸収量取引プロジェクト                               |  |  |      |      |      |   |
| <b>GHG 検証機関</b>                                       |  |  |      |      |      |   |
| 当該プロジェクトにおける検証を行うにあたり、当該プロジェクトに関して一切の利害関係がないことを宣誓します。 |  |  |      |      |      |   |
| 機関名   | 一般社団法人 日本能率協会  |  |      |      |      |  |
| 担当部署名   | 地球温暖化対策センター  |  |      |      |      |   |
| 責任者名  | 松本 素之  |  |      |      |      |   |
| 責任者 E-mail  | Motoyuki_Matsumoto@jma.or.jp                               |  |      |      |      |   |
| 責任者電話番号   | 03-3434-1245   |  |      |      |      |   |
| 審査員名 <sup>1</sup>                                     | 審査担当者: 松本 素之<br>技術専門家: 堀 修二<br>テクニカルレビュー: 鈴木 健司            |  |      |      |      |   |
| 機関要件への合致  | JISQ 14064-2 に対応する認定事業による申請が受理されている約款および登録申請書を提出し、承認を受けている |  |      |      |      |   |
| <b>検証結果</b>   |  |  |      |      |      |   |
| 適用妥当性確認・検証ガイドライン                                      | 妥当性確認・検証ガイドライン Ver.2.2                                     |  |      |      |      |   |
| 事業者との契約日  | 2012年9月25日   |  |      |      |      |   |
| モニタリング報告書受領日 <sup>2</sup>                             | 2012年11月2日   |  |      |      |      |   |
| 検証報告書発行日  | 2012年11月28日  |  |      |      |      |   |
| 現地審査  | 期間   | 2012年11月21日～22日  |      |      |      |   |
|   | 審査内容   | 1) プロジェクト進捗状況の確認(風雪害や獣害などの有無の確認を含む)<br>2) モニタリング報告書の確認、修正の指摘<br>3) QA/QC体制の運用状況の確認<br>4) 現況森林の確認<br>5) 現地審査結果の報告 |      |      |      |   |
| 排出削減・吸収量  | 年度   | 2008   | 2009 | 2010 | 2011 | 2012  |
|   | t-CO <sub>2</sub>  | —  | —    | —    | 331  | 457   |

|                |  |
|----------------|--|
| <p>検証結果の要約</p> | <p>一般社団法人日本能率協会地球温暖化対策センター(以下、当協会という。)は、プロジェクト事業者である岩手県の「オフセット・クレジット(J-VÉR)制度に基づく温室効果ガス吸収プロジェクトモニタリング報告書」(以下、報告書という。)に記載された二酸化炭素吸収量情報について検証を行なった(モニタリング期間:2011年11月1日～2012年10月31日)。</p> <p>その結果、報告書に記載された二酸化炭素吸収量情報は、方法論(No.R001Ver.6.2)、オフセット・クレジット(J-VÉR)制度実施規則(Ver.4.1)、モニタリング方法ガイドライン(Ver.4.2)、妥当性確認・検証ガイドライン(Ver.2.2)に準拠しており、誤りの合計値は、重要性の量的基準である5%未満(0%)となったことから、全ての重要な点について適正であると認める。</p> |
|----------------|--|

- i 審査担当者、レビュー担当者、外部専門家を含み、それぞれの役割を記載すること。
- ii 検証機関がプロジェクト代表事業者等からモニタリング報告書を受領した日を記載すること(この日を以て当該検証の開始日とみなす)。